

# 関東教区の宣教を考える集いのご案内

## テーマ「会津の教会はこうして共にあゆんでいます」 —「協同」の業として宣教の可能性を考える—

関東教区宣教部では、毎年7月の海の日に「関東教区の宣教を考える集い」を開催し、教会が今担うべき宣教の課題について学んできています。2017年度と2018年度の「宣教を考える集い」では、「教会は『広場』になろう」をテーマに学びを重ねました。社会が急激に変化し、それに伴って私たちのあり方も大きく変化しています。SNSの広がりには便利さをもたらしましたが、同時に「孤立化」ももたらしています。画面を通してのやりとりは表面的なものになりがちであり、声にならない声はますます埋没し、その人たちが自分の居場所を求めているのです。教会が広場性を持つ意味が、ますます求められていることを思います。

このような大切な宣教の課題を主より委ねられている中で、教会の実際の、教勢や財政は厳しさを増しています。主より委ねられている大切な使命に取り組みたいと願いつつ、教会の実際を考えたときに、新たな一歩を踏み出すのにためらいを覚えることはないでしょうか。

2019年度の宣教部の宣教方針は、「祈りを合わせ、力を合わせて取り組もう」です。

一つの教会が単独で取り組むことが困難であっても、複数の教会で取り組むことによって、新たな可能性が生まれます。

福島県の会津地区は、ラクーア伝道によって設立された教会が多くあります。ラクーア伝道によって会津の農村に福音が宣べ伝えられることは大きな喜びですが、同時に、その一つひとつの教会は小さく、厳しい状況の中で宣教に取り組んでいらっしゃいます。そこで、近隣の教会の集まりを形成し、互いの賜物を用いあう取り組みが行われているのです。

この会津地区の実際に学びたいと思います。関東教区においても、祈りを合わせ、力を合わせて宣教の課題に取り組む「協同性」の実現を求めたいと思います。（委員長 飯塚拓也）

日時：2019年7月15日(月・祝日)10時15分～15時30分

場所：日本基督教団大宮教会

内容：主題講演「福島県会津地区の共同牧会の取り組み」

高橋 真人牧師（会津坂下教会牧師・東北教区宣教部委員長）

参加費：500円（昼食は各自ご持参ください）

\*子どもも一緒に参加しましょう！

子どもたちにも参加してほしいと願っています。一緒に礼拝した後は、子どもプログラムを楽しみ、他の教会の子どもたちと友だちになりましょう。

子どもの参加費は無料です。昼食のみご用意ください。

※交通費補助：申請により往復交通費6千円以上の方には補助をいたします。

【このチラシを教会ごとに印刷くださって、教会内で配布いただければ幸いです】